

水産庁

プレスリリース

平成25年7月12日
水産庁

「2013年IWC/日本共同北太平洋鯨類目視調査」の実施について

我が国と国際捕鯨委員会(IWC)は、IWCの太平洋鯨類生態系調査プログラムに基づき、北太平洋海域において鯨類の目視調査を共同で実施します。

1.調査の目的

本調査は、国際捕鯨委員会(IWC(注1))の太平洋鯨類生態系調査プログラム(IWC-POWER(注2))に基づき、北太平洋海域の鯨類の資源状況等を把握することを目的に、我が国とIWCが共同で実施しているものです。

2010年から実施しており、今回が4回目の調査となります。

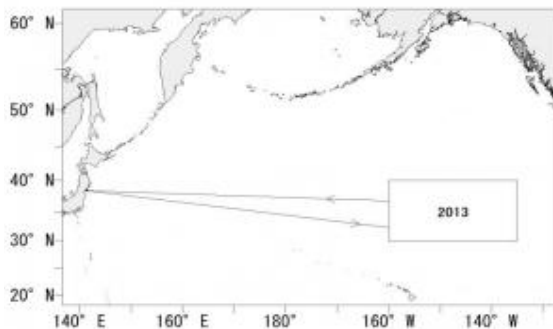
(注1)IWC:International Whaling Commission

(注2)POWER:Pacific Ocean Whale and Ecosystem Research

2.調査の概要

(1)調査期間 平成25年7月12日(金曜日)～9月9日(月曜日)

(2)調査海域 北東太平洋海域(公海):下図の線で囲まれた海域



(3)調査委託機関 財団法人 日本鯨類研究所

(4)調査船 第三勇新丸(総トン数742トン)

調査船には、日本人2名、メキシコ人1名、韓国人1名の合計4名の鯨類研究者が乗船し、調査に当たります。

(5)調査内容

イワシクジラ、ナガスクジラその他の鯨類の資源量推定

イワシクジラ、ナガスクジラ、ザトウクジラ、マッコウクジラ等の系群構造に関する情報収集(特にバイオプシー(生体組織)サンプルの収集)

セミンクジラ、シロナガスクジラ等稀少鯨種の個体識別写真撮影及びバイオプシーサンプルの収集

— お問い合わせ先 —

資源管理部国際課
担当者: 捕鯨班 佐々木、成澤
代表:03-3502-8111(内線6762)
ダイヤルイン:03-3502-2443
FAX:03-3504-2649

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁